



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No.290

2025.1▶2

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2025年1月1日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

吉田館長より新年のご挨拶

謹賀新年

新春を迎え、会員のみなさま方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。2025年も国立民族学博物館ならびに「国立民族学博物館友の会」をよろしくお祈りいたします。



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

みんぱくは、昨年、創設五〇周年を迎えました。周年期間の終期は、二〇二四年度末、つまり本年三月末としておりますため、創設五〇周年記念事業は、国際シンポジウムや特別展、企画展など、これからも続々と開催されます。

昨年開催された数次にわたる創設五〇周年記念国際シンポジウムは、いずれも、民博のこれまでの五〇年を振り返り、現在を検証し、未来への展望を開く、貴重な機会となりました。

みんぱくでは、既に、将来構想検討委員会も発足させ、向こう一〇年、二〇年を見通すための議論を始めております。創設から五〇年という節目を迎え、新たなスタートが切れたと受け止めております。ただ、世界は今、ますます混乱の度を増し、深い分断の様相を呈してきてい

ます。他者への敬意と共感を育み、言語や文化の違いを超えた人類の共生への道を示す、人類学の知、民族学博物館の役割は、世界がこのような状況に置かれているからこそ、ますますその重みを増していると痛感しております。

本年三月末で、私の館長としての任期は満了となります。四月から、関雄二・現名誉教授に新たな館長にご就任いただく予定です。

私の、過去八年にわたる館長としての任期、さらには、計三十七年に及ぶみんぱくでの在任中、友の会の皆さまから頂戴いたしましたご交誼、ご支援に、この場を借りて心より御礼を申し上げます。また、本年四月から、新館長の下でのみんぱくの活動に対しまして、これまでと変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

そして、何よりも、新しい年が皆さまにとりまして実り多い年でありますよう、お祈りしております。

吉田 憲司

【ご案内】第555回みんぱくゼミナール

「知のフォーラム」をめざした博物館づくり

——みんぱくとの50年、みんぱくでの37年

講師：吉田 憲司（民博館長）

日時：3月15日（土）13時30分～15時

会場：本館2階 みんぱくインテリジェントホール（講堂）

第87回体験セミナー

「太陽の塔」見学会、吉田館長による講演 & 茶話会

万博からみんぱくへ ——そして、もうひとつの万博へ

講師：吉田 憲司（国立民族学博物館長）

日時：1月25日（土）

時間：13:00～16:00

参加費：会員 3,000円 ※見学費込、コーヒーまたは紅茶、お茶菓子付

一般 4,000円 ※上記に加え、みんぱく本館展示観覧券付

募集人数：35名（先着順、最少催行人数20名）

申込締切：1月10日（金）

●友の会正会員は同伴者1名まで会員価格で参加できます。

●車いすをご利用の方は、ご予約時にお知らせください。

催し詳細・受付フォーム



太陽の塔（写真提供：大阪府）

「世紀の祭典 日本万国博覧会50周年記念公式ガイド」付！



生命の樹（写真提供：大阪府）

50年をふりかえって

中牧理事長のオンラインサロン実施報告

実施日 2024年11月9日(土)

話者 藤井龍彦(民博名誉教授)
中牧弘允(民博名誉教授)
久保正敏(民博名誉教授)
千里文化財団専務理事



上: 辞令式
下: 発足式後に教職員全員集合

二〇二四年十一月九日(土)、中牧理事長によるオンラインサロンが開催されました。前回の理事長サロンに引き続き、藤井龍彦名誉教授をゲストに迎え、みんなく創設時のアーカイブズ写真を久保正敏名誉教授の解説とともに振り返りました。みんなく創設準備室の大阪分室が現・万博記念ビル⁽¹⁾の三階に設けられたことや、一九七四年四月一日の辞令式、定例会議後の様子、一九七四年六月一〇日の発足式の際に撮影された集合写真など、当時の詳細が語られました。また、みんなく建設前の空き地や地鎮式、建設中の様子、中央パティオ、オセアニア展示場のチェチェメニ号にまつわるエ

ピソードなども紹介され、参加者にみんなく開館までの歴史の一端をお伝えしました。後半では、『季刊民族学』一九〇号の特集「私たちが歩んだ半世紀」に関連して、久保先生から「この五〇年がこれからの五〇年にどうつながるのか、読者それぞれが考えてほしい」とのメッセージがありました。その後、参加者一人ひとりから感想や意見をいただき、活発な意見交換が行われました。

最後に、藤井先生から「みんなくのこれから」についてお話を伺いました。人間や文化の多様性と共通性をたえず意識することが重要であるとし、「初心に帰れ」という言葉でその考えをまとめられました。さらに、研究者が研究成果を多くの人に共有する方法として、論文や著書に加え、フィールドから戻った直後にオンラインを活用した報告会や講演会を行うことを提案され、本サロンは盛会のうちに終了いたしました。(文・事務局)

(1) 一九七四年、みんなくの設置を決めた「国立学校設置法の一部を改正する法律」の施行が遅れたため、教員はひとまず、四月一日(日)に国文学研究資料館の教官として辞令が交付されました。



上: 万博記念ビル
(当時の日本万国博覧会協会本部ビル)
中央: 建設中の国立民族学博物館
下: オンラインレクチャーの様子。
左から久保先生、中牧先生、藤井先生

中牧理事長のオンラインサロン(新年会)のご案内

新しい年を迎えるこの機会に、中牧理事長を囲んで、おしゃべりを楽しみませんか? 理事長のミニレクチャーも予定しています。お好きなお飲み物やお菓子などご用意のうえ、ぜひご参加ください!
トピック: 「万博」、「干支(巳年)」

日時: 1月19日(日) 13:30~15:00

※会員限定企画です。事前申込制。
1月15日(水)までにお申し込みください。

※お申し込みいただいた方には、後日詳しい参加方法のご案内を差しあげます。

受付フォーム

<https://www.senri-f.or.jp/rijichosalon007/>



中牧理事長



NEWS!

中牧理事長の「時代の証言」

インタビューが公開されました!

梅棹忠夫初代館長の言葉「たえざるイノベーション」や、当財団とみんなくの歴史についても紹介されています。ぜひご覧ください。



刊行

創設50周年記念史

『語りあい ひらける世界——みんなく五十年の歩み』

会員予定価格: 3,760円(税込)、予価: 3,960円(税込) A5判/口絵8頁/本文424頁

詳細はこちら



【募集】第88回体験セミナー

コーヒー賛歌

— 香りを聞き、音を味わう —

日時：3月16日(日) 13:30～17:00

会場：UCCグループ神戸本社 9階ラウンジ

協賛：UCC ジャパン株式会社

参加費：維持会員・正会員 11,000 円、左記以外の方 13,000 円

募集人数：30 名(先着順、最少催行人数 18 名)

申込締切：2月21日(金)

- 維持会員・正会員の方は1月7日(火)、それ以外の方は1月14日(火)より受付開始。
- 正会員の方は同伴者1名まで会員価格で参加できます。

お土産付き!
コーヒーの木

観葉植物としてお部屋のインテリアにも



今回は UCC グループ神戸本社を舞台に、コーヒーを通じてその豊かな文化、歴史、そして芸術に触れるセミナーを開催いたします。知識と感覚を融合させた特別なプログラムを通じ、日々の一杯がより豊かに、そして特別に感じられるようになることでしょう。

まず初めに、六種類の飲み比べプログラムを体験します。ここではコーヒーの味を形づくる要素について学び、見識を深めます。栽培種、生産国、精製方法、焙煎度合など、豆本来の味を楽しみながら、色、香り、質感、温度帯による感じ方の変化など、五感をおしとささまざまな発見を通じて、自分の好みを見つけてみましょう。

つぎは、西尾哲夫先生の特別講演です。アラビアンナイトをヨーロッパに紹介したアントワーヌ・ガランが著した『コーヒーの起源と普及について』から、コーヒーの起源伝説についてお話しいたします。ここでは、歴史に思いを馳せながら、アラブコーヒーとトルココーヒーを試飲してみましよう。

最後は、岡本尚子先生と岡本祥子さんによる音楽会です。コーヒーを提供する場であるカフェは、芸術家や文化人たちが集まる場でもあり、フランス文化を語る上で欠かせない存在となっています。パリのカフェ文化や、稀代のコーヒー好きとして知られる文豪バルザック

などのエピソードとともに、その周辺の音楽家たちの楽曲を生演奏で味わいます。本セミナーの締めくくりとして、コーヒーの原産国とされるエチオピアの希少品種、「ゲイシャ」をご提供いたします。世界中の愛好家を魅了する繊細で複雑な味わいと、華やかな香りを聞いてみましょう。



パリで最も古いカフェ「ル・プロコップ」

【講師プロフィール】

◆水川 佐保 (UCC コーヒーアカデミー専任講師)

UCC コーヒーアドバイザー。コーヒーの魅力や楽しみ方をわかりやすくお伝えし、コーヒーライフをサポートしている。

◆西尾 哲夫 (国立民族学博物館名誉教授)

専門は言語学、アラブ研究、フランス文化研究。アラブ遊牧民の言語人類学的研究やアラビアンナイトの比較文明的研究を行う。

◆岡本 尚子 (国立民族学博物館特任助教)

専門はフランス文学、中東地域文学。『千一夜物語』仏語訳者。J-IC マルドリユス遺贈コレクションについて研究を進めている。

◆岡本 祥子 (ピアニスト)

東京藝術大学、エコールノルマル音楽院などでピアノを学ぶ。モロッコで開催された青年国際音楽コンクール第二位、並びに現代音楽賞、フランス音楽コンクール第一位など、受賞歴多数。ピアニストとして幅広い演奏活動を行う。

実施内容

① コーヒー飲み比べワークショップ

「あなた好みのコーヒー
— 基礎から学ぶ味わい体験 —」

講師：水川 佐保(UCCコーヒーアカデミー専任講師)

- ・コーヒーの味わいに影響を与える要素について
- ・試飲 (6 種)
- ・種類当てクイズ
- ・味の解説



② ご講演「コーヒーの起源伝説の謎を追って」

講師：西尾 哲夫 (国立民族学博物館名誉教授)

☞ アラブコーヒー&トルココーヒー (試飲)

③ 演奏会「コーヒーにまつわるパリの音楽風景」

解説：岡本 尚子 (国立民族学博物館特任助教)

演奏：岡本 祥子 (ピアニスト)

曲目：F. ショパン：舟歌

F. ショパン：革命のエチュード

F. リスト：ペトラルカのソネット第 104 番

F. リスト：ゴンドラを漕ぐ女

C. ドビュッシー：映像 第 1 集「水の反映」

「ラモーを讃えて」「運動」

☞ エチオピアゲイシャコーヒー&ケーキ付

会場

UCC ジャパン株式会社

神戸市中央区港島中町 7-7-7

※ポートライナー「南公園駅」より徒歩 3 分。会場は隣接する建物です。

※神戸空港へは同駅からポートライナーで 16 分です。

<https://www.ucc.co.jp/academy/access/>



申込方法

友の会事務局までお申し込みください。

申込締切日(2/21)以降に参加事項と払

込用紙を郵送します。

受付フォーム



アーカイブス動画公開しました！

日本万国博覧会記念公園シンポジウム 2024

協働・共創の万博をめざして

大阪・関西万博まで、毎年開催している日本万国博覧会記念公園シンポジウム。昨年 10 月 26 日(土)に国立民族学博物館インテリジェントホール(講堂)にて実施したシンポジウム「協働・共創の万博をめざして」のアーカイブス動画を公開しました。大阪・関西万博開催を半年前に控え、万博にかかわる方がたからご報告いただき、万博開催の意義について活発な議論が交わされました。ぜひご覧ください！

動画公開ページ

https://www.senri-f.or.jp/expo_symposium2024/



提携施設のご紹介 …… みんぱく友の会の会員証をご提示いただくと、観覧料が割引に!

下記の文化施設・万博記念公園内施設でみんぱく友の会の会員証をご提示いただくと、観覧料等が割引になります。会員証を持って、みんぱくも、各地の文化施設も、お得にお楽しみください。休館日等の情報は、みんぱく友の会のホームページにある各施設リンクよりご確認ください。

提携施設

- 国立歴史民俗博物館 (千葉県) …… 企画展、常設展、付帯施設「くらしの植物苑」が団体割引料金。
- 奈良国立博物館 (奈良県) …… 名品展 (常設) 100円引き、特別展が団体割引料金。
- 京都国立博物館 (京都府) …… 名品ギャラリー (常設)、特別展が団体割引料金。
- 京都国立近代美術館 (京都府) …… コレクション展 (常設)、企画展が団体割引料金。
- 国立国際美術館 (大阪府) …… コレクション展、特別展が団体割引料金。
- 国立科学博物館 上野本館 (東京都) …… 常設展が団体割引料金。
- 島根県立古代出雲歴史博物館 (島根県) …… 常設展が団体割引料金、企画展が1割引。
※2025年4月～2026年9月 (予定) の間、長期臨時休館となります。
- 松本まるごと博物館 (松本市立博物館など) (長野県) …… 常設展が団体割引料金。
- 徳島県立博物館・徳島県立鳥居龍蔵記念博物館・徳島県立近代美術館 (徳島県) …… 観覧料が団体割引料金。
- MIHO MUSEUM (滋賀県) …… 観覧料が団体割引料金。
- サントリー美術館 (東京都) …… 観覧料が団体割引料金。
- 竹中大工道具館 (兵庫県) …… 観覧料が団体割引料金。

万博記念公園内の施設

- 自然文化園・日本庭園 …… 団体割引料金にて入園。
- 大阪日本民芸館 …… 観覧料が団体割引料金。
- ノースガーデン …… ランチセットをご注文の方にドリンク (種類指定あり) をご提供。
- EXPO'70パビリオン …… 観覧料が団体割引料金。

上記施設以外が主催の場合など、割引対象外になる場合があります。ご利用の際は各施設のホームページをご確認ください。

提携施設に関する情報はこちら

https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/about/join/service/



月の出を拜む日月祭。月が出る方角に三階の棚を設ける。写真は三十三度の礼拝神楽の様子。

太夫や僧侶たちの互いに異なることばや所作の不協和音のようなハーモニーに、現場ならではの陶酔を覚えると共に、太夫がお弟子にその場で教えながら祭りが進行する様子が良い意味で生々しく、この先に繋がっていく期待をもちました。

これまで時代と共に変容してきたわけですし、山川とのお付き合いという根っこは保ちつつ、今後も柔軟に「いざなぎ流」が続いていけばと願います。(大坪潤子さん)

友の会の企画がよい。ふつうではふれることのできない、日本の深層文化をすることができるため。(佐藤芳郎さん)

ふきだしは参加者の感想です。

いざなぎ流は、高知県の北東部、香美市物部町に伝わる民間信仰です。山深いこの地では、人びとは「見えない存在」を畏れながら生活を営んできました。そんな物部に伝わる神がみまつる方法を「いざなぎ流」とよびます。今回のセミナーでは、いざなぎ流の祭祀「日月祭」の開催にあわせて現地を訪問しました。

物部では急速な過疎化が進んでいます。祭りの会場となった祈禱殿には、個人宅の家の神が「永代供養」のようなかたちでまつられていました。一方、宗教者(太夫)の知識が若い弟子に継承されていく様子も見られ、印象にのこりました。今回の祭りでは、主催する太夫の知人の僧侶が何人も参加・協力していました。そもそも「いざなぎ流は、

陰陽道や修験道、密教や神道の要素が入り混じってできたといわれています。例祭はなく、時々必要に応じて祈禱や祭儀が営まれてきました。祭りの様子に、人びとの願いや社会の状況とフレキシブルに向き合ってきた信仰の有様を垣間見た気がします。

翌日は、いざなぎ流の方法で家の神の祭祀を続けてきた方、いざなぎ流を文化資源として捉え、地域振興に携わってきた方を訪ねました。また、祭りを主催した太夫を囲んで話を聞き、いざなぎ流の特徴のひとつでもある御幣切りを体験しました。信仰が育まれた物部の立地や風土を肌で感じるとともに、宗教者・住民・研究者らによって支えられている「いざなぎ流のいま」を知ることのできた二日間でした。(文事務局)

神や精霊の声を聴く

——土佐物部の民間信仰、いざなぎ流を訪ねる

同行講師 梅野光興(高知県立歴史民俗資料館学芸員)
実施日 2024年10月17日(木)～10月18日(金)

館内催し 会員先行予約

該期間中に友の会事務局までご連絡ください。催しの詳細、その他催しに関する情報は、みんぱくホームページや『月刊みんぱく』をご確認ください。

みんぱく催し

<https://www.minpaku.ac.jp/event/>



【お知らせ】みんぱくゼミナールについて

1月のみんぱくゼミナールより事前申込制を廃止します。参加希望の方は、当日直接会場へお越しください。また、事前申込制の廃止に伴い、開場時間が13時からとなります(開催時間13:30~15:00)。

みんぱく映画会

セールス・ガールの考現学

2月24日(月・祝)13:30~16:40(受付・開場12:30)

解説: 島村一平(民博教授)

司会: 菅瀬晶子(民博准教授)

友の会先行受付:1月10日(金)~17日(金) 定員70名

申込先着順/本人を含む2名まで

みんぱく友の会事務局(千里文化財団内)

電話 06-6877-8893(平日9:00~17:00)

年末年始の休館・休業のお知らせ

◆国立民族学博物館:2024年12月28日(土)から2025年1月4日(土)まで休館・休業いたします。年始は1月5日(日)から開館します。

◆友の会事務局:2024年12月28日(土)から2025年1月5日(日)まで休業いたします。

友の会機関誌『季刊民族学』191号

特集 大阪:野生の都市

古代の「野生」性と近代の「都市」性をあわせもつ大阪の、批判的で創造的な文化を取り上げ、その魅力を解き明かします。

1月31日発行予定

新刊のご案内

ぼくのみんぱく日記

画・中川洋典



オールブラックス

十二月九日(月)
ハワイ諸島の
戦国神ク
像ノポーズデ
ラグビー選手
が演じるハカ
ミタイデス
ネ。

友の会講演会のご案内

お申し込みには、友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

- ・会場(定員70名)、オンライン配信(ライブ配信)ともに事前申込先着順です。
- ・友の会会員は会場参加に限り予約が不要です。当日、会場受付にて会員証をご提示ください。

※会場での聴講は会員以外の方もご参加いただけます(参加費500円)。

大阪

第556回

『アイヌ通史』にみるアイヌ史研究の課題と展望

講師: マーク・ウィンチェスター(民博助教)

日時: 1月11日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法: ①第5セミナー室での参加 ②オンライン(ライブ配信)での参加

私は英語圏初の本格的なアイヌ近現代史書を日本語に翻訳し、2021年に『アイヌ通史』として刊行しました。原著は、私の大学時代の師匠が1996年に出版した本です。この本を翻訳した理由の一つは、日本語のアイヌ史研究に見られない論点がたくさん含まれているからです。本講演では、『アイヌ通史』をいかに日本のアイヌ史研究の中に位置づけることができるか、または研究の今後の展望についてお話します。

受付フォーム

<https://www.senri-f.or.jp/556tomo/>



第557回

GHQによる神楽台本の検閲

講師: 鈴木 昂太(民博助教)

日時: 2月1日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法: ①第5セミナー室での参加 ②オンライン(ライブ配信)での参加

1945年に戦争が終わると、日本を占領した連合国軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)は、通信・出版・放送・芸能にわたる幅広い分野で検閲を実行していました。中国地方の神楽には、実際に検閲を受けた台本が残されています。こうした検閲はいかにおこなわれ、その結果神楽の伝承にどのような影響が生じたのかについて、芸北神楽の事例を中心に考えていきます。

受付フォーム

<https://www.senri-f.or.jp/557tomo/>



第558回

布のオーセンティシティは誰が決めるのか

——インドの染色品アジュラクとその職人

講師: 金谷 美和(国際ファッション専門職大学教授)

日時: 3月1日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法: ①第5セミナー室での参加 ②オンライン(ライブ配信)での参加

手仕事でつくられる伝統的な布工芸品のオーセンティシティ(正統性、本物らしさ)は誰が決めるのでしょうか。アジュラクは、インドの職能集団カトリーによって地域の牧畜民男性のために製作されてきました。アジュラクのオーセンティシティとアイデンティティをめぐる職人たちのせめぎあいについてお話します。

受付フォーム

<https://www.senri-f.or.jp/558tomo/>



■第53回■2024年10月5日(土)

「みんぱく創設50周年記念特別展」吟遊詩人の世界」関連

絵語りポトウアの歌世界

岡田 恵美 (民博准教授)

講演会前半では、インド・西ベンガル州のノヤ村にて絵師・絵語り師を生業とするポトウアについて、今年制作した映像民族誌「絵語りポトウアとして生きる」を用いて紹介しました。

ノヤ村には約二五〇人のポトウアが暮らし、全員がイスラーム教徒であるにも関わらず、ヒンドゥー名と絵師を意味するチットロコルを自称し、縦長の巻物「ポト絵」を描いて物語を歌で紡ぎます。自然顔料で彩色されたポト絵には、ヒンドゥー教の神々や蛇の女神モノシヤの物語、ラーマーヤナの二節などが大胆な構図で描かれ、同時に社会問題もポト絵に巧みに取り入れてきました。例えば、花嫁の持参金問題(少ない持参財による嫁ぎ先での迫害や殺人)や森林破壊への警鐘、近年ではコロナウイルスの脅威とワクチン接種といった啓発的な主題です。三〇年ほど前までは近隣のヒンドゥー教徒の村々を巡って物語を歌い、当時は数少ない娯楽であり、ヒンドゥーの神々への信仰や、道徳的な啓蒙を媒介する役割を果たしました。近年はポト絵や絵付け作品の販売によつ



ノヤ村の女性たちによる絵語り
撮影：岡田恵美、2023年

て生計を立て、女性ポトウアの集団歌唱によって力強い絵語りが復興しています。

講演会後半では、文化人類学者の金基淑(キム・キスク)が約三五年前にノヤ村で調査した内容と現在の状況を、担い手やポト絵の内容、絵語りの実践や技術の伝承といった観点から比較考察し、その経年変化に着目しました。講演会や見学会での質問も多く、イスラームとヒンドゥーの狭間で、時代や需要の変化に対して柔軟さを発揮し、巧みに生きるノヤ村のポトウアの姿から、異なる宗教間での共生や口承文化の存続について、参加者とともに考える機会を共有できました。

■第138回■2024年10月27日(日)

魔女とハロウィンののはじまり

河西瑛里子 (民博助教)

今時の渋谷では禁止されていますが、二二世紀の日本にコスプレ・イベントとして定着したハロウィンの起源は、アイルランドで祖先をあの世から迎える「ソーウィン」祭でした。一九世紀半ば、多くのアイルランド人がアメリカに移住し、そこで子供が楽しむ行事に進化したのです。ソーウィンの時期、人々は帰宅する祖先と一緒にやってくる悪霊を怖がらせて追い払うために仮装をしていて、その一つが悪魔と契約をした邪悪な魔女でした。

このようにかつての魔女は想像界の存在でしたが、二〇世紀半ばから自ら「魔女」を名乗る人たちも出てきています。日本にもいます。そのきっかけは、二〇世紀半ば、あるイギリス人男性が儀式魔術と田舎に残っていたとされる習俗を合わせて、新しい魔女術ウィツカを創ったことでした。

かつてのアイルランドでは、二〇月三二日は大晦日。ということ



ソーウィンの祭壇 提供：河西瑛里子

参加者一人ずつに、おみくじのような魔女のオラクルカードをお渡しし、お話の後に「新年」の自分についていろいろと思いを巡らせてもらいました。

会場にはハロウィンのタロットを飾り、現代の魔女たちに倣って、ソーウィンの祭壇を設置(写真参照)。東に風、南に火、西に水、北に大地を象徴するものを置き、カボチャはもちろん、死者にちなんで、古代エジプトの男神アヌビスとその仲間たちを主神に迎えました。渋谷の「守り神」ハチ公も、この祭壇の下で写真としてこっそり見守っていてくれたんですよ。

本紙掲載の情報は、2024年12月20日時点で決定している内容です。諸事情により急遽予定を変更する場合があります。

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会

公益財団法人 千里文化財団

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1 (国立民族学博物館3階)

電話：06-6877-8893(平日9:00~17:00)

FAX：06-6878-3716

e-mail：minpakutomo@senri-f.or.jp

国立民族学博物館 最新情報



ホームページ
<https://www.minpaku.ac.jp/>



Facebook
<https://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

国立民族学博物館友の会 最新情報



ホームページ
https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



Facebook
<https://www.facebook.com/minpakutomo/>